

持続的生産強化対策事業のうち次世代国産花き産業確立推進事業に関する事業評価票

						評価機関名	北海道農政事務所				
都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況			具体的な取組内容		
					増減率	①・③平成30年度 ④平成27～29年の3年平均	目標年 令和5年度	達成率			
					①活動区域における花きの流通経路間における輸送効率を向上(%) ③活動区域における花きの作付面積の増加(m) ④活動区域における花きの消費量又は消費金額の増加(円) ⑤活動区域において花育又は園芸体験を受講した者の花きの購入数量又は購入金額が受講前に比べて増加(%)						
北海道	札幌市	北海道花き振興協議会	・切り花(スターチス、カーネーション、ゆり、デルフィニウム、ひまわり)	平成31年度	83.4	5%	78.4	90.0	232.0% 達成	(当初計画) ・花き関係者の連携、戦略品目の設定 ・各種マニュアル等の作成 ・複数産地における共同・混載輸送による温度・湿度の影響及びコスト削減効果把握のための輸送実証 ・実証成果の分析 ・成果の普及活動 (改善計画) ・鮮度保持装置等を使用した、野菜との混載輸送の普及	野菜との混載輸送によりトラックの積載効率が向上し、成果目標は達成されたと認められる。
			・花壇用苗もの(ニューギニアインパチエンス、カリブラコア)	2,490	50%	1,660	710.7	-114.3% 未達成	(当初計画) ・花き関係者の連携、戦略品目の設定 ・各種マニュアル等の作成 ・導入品種の特性及び適正把握のための栽培試験 ・実証成果の分析 ・成果の普及活動 (改善計画) ・EOD技術や液肥混合機の普及等、燃油価格高騰や人手不足に対応した生産体制の強化	資材価格高騰や生産規模縮小の影響により、耐光・耐暑・耐湿性を有しているとされる新品種等の生産拡大及び液肥混合機等の全道の導入に至らなかったことから、作付面積の増加に至らず目標未達成となった。成果目標が未達成であるため、事業実施主体に対して目標達成に向けた改善計画の提出を求める。	
			・切り花(スターチス、カーネーション、ゆり、デルフィニウム、ひまわり) ・花壇用苗もの(ニューギニアインパチエンス、カリブラコア)	12,568	5%	11,969	11934.0	-5.8% 未達成	(当初計画) ・花き関係者の連携、戦略品目の設定 ・展示会、アレンジメント体験、飲食業界と連携した取組 ・小学校や福祉施設における花育体験及び園芸体験 ・事業の実施効果の調査・分析 ・成果の普及活動	資材価格高騰による園芸用品の値上がりや夏期の高温によりガーデニング離れが広がったこと、生活必需品や食料品の高騰により嗜好品である花きの消費が控えられたことが要因となり、目標未達成となった。成果目標が未達成であるため、事業実施主体に対して目標達成に向けた改善計画の提出を求める。	
			・鉢物(シクラメン、ポインセチア)	30	30%	0	21.0	70.0% 未達成	(改善計画) ・日常的に花きに触れる機会が少ない人をターゲットとした展示や各種体験活動の実施	鉢花・花壇用苗物を活用した花育体験等において、資材価格高騰による園芸用品の値上がりや夏期の高温によりガーデニング離れが広がったことが影響し、花きの購入金額に大きな変化が見られず目標未達成となった。成果目標が未達成であるため、事業実施主体に対して目標達成に向けた改善計画の提出を求める。	

(注) 成果目標の達成状況欄に達成状況の経過を記載すべき事業にあつては、記載例を参考に列を挿入し、記載するものとする。

持続的生産強化対策事業のうち次世代国産花き産業確立推進事業に関する事業評価票

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成果目標の達成状況			評価機関名	北海道農政事務所
					増減率		基準年 ①及び⑤ 平成26～30年 の5中3平均 ②、⑥及び⑧ 平成30年 ③ 平成27～30年 の4年平均 ⑦ 平成30年～令和1年の2年平均	目標年 令和5年度	達成率		
北海道	札幌市	北海道花き振興協議会	令和2年度	・切り花(スターチス、カーネーション、ゆり、デルフィニウム、ひまわり)	235.0	12%	209.7	160.3	-195.2% 未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・花き関係者の連携、戦略品目の設定 ・ハウス自動開閉装置による労働力削減効果及び品質への影響の実証 ・出荷時期の調整による需要期における花きの安定供給に向けた実証 ・展示会やアレンジメント制作体験、生花店における産地表示プロモーション ・花き定額制購入サービスの実証 ・小学校や福祉施設等における花育体験 	資材価格高騰や生産規模縮小等の影響により、ハウスの自動開閉装置の全体的な導入に至らなかったことから、作付面積の増加に至らず目標未達成となった。成果目標が未達成であるため、事業実施主体に対して目標達成に向けた改善計画の提出を求める。
				・切り花(ひまわり)	539.6	-5.5%	571.1	568.4	8.5% 未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・花き関係者の連携、戦略品目の設定 ・ハウス自動開閉装置による労働力削減効果及び品質への影響の実証 	資材価格高騰や生産規模縮小等の影響により、ハウスの自動開閉装置の全体的な導入に至らなかったことから、成果目標の指標として設定した「北海道農業生産技術体系」における栽培管理に係る作業時間の低減につながらず、目標未達成となった。成果目標が未達成であるため、事業実施主体に対して目標達成に向けた改善計画の提出を求める。
				・切り花(スターチス、カーネーション、ゆり、デルフィニウム、ひまわり、アルストロメリア、バラ)	12,300	5.9%	11,611	11,934	46.8% 未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・花き関係者の連携、戦略品目の設定 ・展示会やアレンジメント制作体験、生花店における産地表示プロモーション ・花き定額制購入サービスの実証 ・小学校や福祉施設等における花育体験 	資材価格高騰による園芸用品の値上がりや夏期の高温によるガーニング離れが広がったことや、生活必需品や食料品の高騰により嗜好品である花きの消費が控えられたことが要因となり、目標未達成となった。成果目標が未達成であるため、事業実施主体に対して目標達成に向けた改善計画の提出を求める。
				・花壇用苗もの(ニューギニアインパチェンス、カリブラコア、ゼラニウム、バーベナ)	30	30%	0	6.1	20.3% 未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・花き関係者の連携、戦略品目の設定 ・小学校や福祉施設等における花育体験 	花育体験は、日頃から花きにふれる機会が多い参加者の割合が高かったことから、参加前後を比較して花きの購入金額に大きな変化が見られず、目標未達成となった。成果目標が未達成であるため、事業実施主体に対して目標達成に向けた改善計画の提出を求める。
				・切り花(アルストロメリア、バラ)	14.0	10%	12.7	8.8	-300.0% 未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・花き関係者の連携、戦略品目の設定 ・ハウス自動開閉装置による労働力削減効果及び品質への影響の実証 ・展示会やアレンジメント制作体験、生花店における産地表示プロモーション ・花き定額制購入サービスの実証 ・小学校や福祉施設等における花育体験 	資材価格高騰や生産規模縮小等の影響により、ハウスの自動開閉装置の全体的な導入に至らなかったことから、作付面積の増加に至らず目標未達成となった。成果目標が未達成であるため、事業実施主体に対して目標達成に向けた改善計画の提出を求める。
				・切り花(アルストロメリア)	700.7	-10.8%	786.2	792.8	-7.7% 未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・花き関係者の連携、戦略品目の設定 ・ハウス自動開閉装置による労働力削減効果及び品質への影響の実証 	資材価格高騰や生産規模縮小等の影響により、ハウスの自動開閉装置の全体的な導入に至らなかったことから、成果目標の指標として設定した「北海道農業生産技術体系」における栽培管理に係る作業時間の低減につながらず、目標未達成となった。成果目標が未達成であるため、事業実施主体に対して目標達成に向けた改善計画の提出を求める。
				・花壇用苗もの(ニューギニアインパチェンス、カリブラコア、ゼラニウム、バーベナ)	5,400	16%	4,650	2,545.4	-280.6% 未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・花き関係者の連携、戦略品目の設定 ・導入品種の特性及び適性把握のための栽培試験 ・展示会やアレンジメント制作体験 ・小学校や福祉施設等における花育体験 	資材価格高騰や生産規模縮小等の影響により、ハウスの自動開閉装置の全体的な導入に至らなかったことから、作付面積の増加に至らず目標未達成となった。成果目標が未達成であるため、事業実施主体に対して目標達成に向けた改善計画の提出を求める。
				・鉢物(シクラメン、ポインセチア)	75	-37.5%	120	70.3	110.4% 達成	<ul style="list-style-type: none"> ・花き関係者の連携、戦略品目の設定 	通い台車を使用することによって労働時間の削減となり、成果目標は達成されたと認められる。

(注) 成果目標の達成状況欄に達成状況の経過を記載すべき事業にあっては、記載例を参考に列を挿入し、記載するものとする。